

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

16

1 施策の概要

1-1 施策の名称	成人・老人保健			基本施策コード	2-1-1
1-2 担当	部	健康福祉部	課 又は施設	高齢者福祉課	評価票作成者 高齢者福祉課長 原田 一也
1-3 総合計画における施策の体系	①節	保健福祉「健康で安心して暮らせるふれあい・支えあいのまちづくり」			
	②項	健康			
1-4 施策の目的	高齢者が、要支援・要介護状態へ移行することを予防するため、高齢者の社会参加の機会を増加させる。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

● 施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実施手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義
		目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	
①	健康診断や保健指導など健康づくり施策に対する満足度	81.0（%）	81.9（%）	101.1（%）	82.0（%）			生活習慣病予防や健康づくり活動事業に対する市民満足度を表す指標
②								
③								

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	高齢化社会の到来による特定高齢者施策としての「ねんりん倶楽部」必要性の共通認識を持つ。	地域での事業のため、高齢者が気軽に集える事業としなければならない。	参加者（延べ）1,183人と2010年の目標値をクリアしている。
平成19年度	〃	〃	参加者（延べ）1,265人と2010年の目標値（1,140人）をクリアしている。
平成20年度	〃	〃	参加者（延べ）1,175人と2010年の目標値（1,140人）をクリアしている。
平成21年度	〃	〃	参加者（延べ）1,316人と2010年の目標値（1,140人）をクリアしている。
平成22年度	高齢者が外出し、社会参加を行うことは、心身ともに健康維持に大きな役割を果たす。既存事業の拡大を視野に入れるために、「ねんりん倶楽部」を積極的に実施していく。		
平成23年度	高齢者が外出し、社会参加を行うことは、心身ともに健康維持に大きな役割を果たす。「ねんりん倶楽部」の積極的な実施に加え、地域ボランティアによるサロン事業の拡大に努める。		
平成24年度	高齢者の閉じこもりを防止するために、地域ボランティアによる「サロン事業」を積極的に進める。		
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

